

「国際化学物質管理会議(ICCM)に関する公開作業部会(OEWG)第2回会合」の  
結果について（お知らせ）

平成 26 年 12 月 22 日(月)  
環境省 総合環境政策局  
環境保健部 環境安全課  
直 通 : 03-5521-8260  
代 表 : 03-3581-3351  
課 長 : 森下 哲(内線 6350)  
課長補佐 : 斉藤 貢(内線 6368)  
担 当 : 和田 直樹(内線 6356)

「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ」(SAICM)の推進のため、12月15日～17日にジュネーブ(スイス)において「国際化学物質管理会議(ICCM)に関する公開作業部会(OEWG)第2回会合」が開催されました。

SAICMは「2020年までに化学物質が人の健康への有意な悪影響を最小限とするような方法で使用され、製造される」という目標(WSSD2020年目標)の達成のため2006年に策定されました。

今回の会合では、2015年に開催されるICCM第4回会議に向けて、2020年までに実施すべき事項を定める全体的方針及び指針(OOG)や塗料中鉛、製品中化学物質、電気電子製品のライフサイクル有害化学物質、ナノテクノロジーとナノ材料、及び内分泌かく乱化学物質等の新規政策課題(EPI)に関する検討等を行いました。

## 1. 背景

2006年2月に開催された第1回国際化学物質管理会議(ICCM: International Conference on Chemicals Management)において、「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ」(SAICM: Strategic Approach to International Chemicals Management)が策定されました。

SAICMは、2002年のヨハネスブルグサミット(WSSD: World Summit on Sustainable Development)で採択された「2020年までに化学物質が人の健康と環境への有意な悪影響を最小限とするような方法で使用され、製造される」ことを目標として、科学的なリスク評価に基づくリスク削減、予防的アプローチ、有害化学物質に関する情報の収集と提供、各国における化学物質管理体制の整備、途上国に対する技術協力の推進等の分野での戦略と行動計画を定めたものです。

SAICMについては、ICCMを開催して定期的にその進捗状況をレビューすることとされていますが、その準備のための公開作業部会(OEWG: Open-ended Working Group)が2009年5月に開催された第2回ICCMにおいて設立されました。今次会合は、第4回ICCM(2015年に開催予定)までの間にWSSD2020年目標の達成に向け、2020年までに実施すべき事項を定める全体的方針及び指針(OOG: Overall Orientation and Guidance)や、持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)を含む2020年以降の国際化学物質管理等に関する検討を進めることを主目的としています。

## 2. 会合の概要

- ・開催期間:平成26年12月15日(月)～12月17日(水)  
(14日(日)にSAICMの実施に係るテクニカルブリーフィング等が開催)

- ・開催場所:ジュネーブ(スイス)
- ・出席者:各国政府代表、関係国際機関、産業界、非政府機関等(約 108 力国、約 350 名(暫定集計値))が参加。日本政府からは、環境省(齊藤貢 環境省環境安全課 課長補佐)、外務省、経済産業省の担当官が出席

※会議文書:議題、会議文書等は以下のウェブサイトから入手可能です。

[http://www.saicm.org/index.php?option=com\\_content&view=article&id=509:meeting-documents-2nd-meeting-of-the-open-ended-working-group-geneva-15-17-december-2014&catid=92:owwg](http://www.saicm.org/index.php?option=com_content&view=article&id=509:meeting-documents-2nd-meeting-of-the-open-ended-working-group-geneva-15-17-december-2014&catid=92:owwg)

### 3. 会合の主な結果

#### (1) 化学物質の適正管理に関する 2020 年目標の達成に向けた進捗と課題

SAICM の実施における進捗と課題に関連し、①2020 年に向けた地域的な活動実績、強み及び課題、②包括的方針戦略(OPS: Overarching Policy Strategy) の目標達成進捗、③保健部門における戦略の実施、及び④2020 年目標達成へ向けた OOG、の 4 項目について議論されました。各項目の結果は以下のとおりです。

- [1] 2020 年に向けた地域的な活動実績、強み及び課題:会期間に各地で行われた地域会合の結果を踏まえて、各地域が SAICM2020 年目標の達成状況と今後の重点目標を発表しました。
- [2] OPS の目標達成進捗:2011 から 2013 年の間の SAICM の進捗状況、並びに IOMC (Inter-Organization Programme for the Sound Management of Chemicals)参加組織による SAICM 実施に向けた分析が報告されました。
- [3] 保健部門における戦略の実施:第 3 回 ICCM における保健部門の関与を強化する戦略に関する決議を受けて、世界保健機関(WHO)より SAICM 実施における保健部門の関与について報告されました。
- [4] 2020 年目標達成へ向けた OOG:今次会合に提出された OOG 案に対して参加各国、機関からの意見を集約して、SAICM 事務局が最終案を作成し第 4 回 ICCM に提出することになりました。

#### (2) 持続可能な開発目標(SDGs)と 2020 年以降の化学物質の適正管理

化学物質及び廃棄物適正管理が持続可能な開発アジェンダにおいて重要な役割を担っているとの認識を共有し、SAICM がその実施において貢献できることを確認するとともに、SAICM が多主体間のプラットフォームとなることが可能であることが表明されました。

#### (3) 新規政策課題(EPI)及びその他の懸念事項

- [1] EPI の進捗状況報告:SAICM では、塗料中鉛、製品中化学物質、電気電子製品のライフサイクル有害化学物質、ナノテクノロジーとナノ材料、及び内分泌かく乱化学物質が EPI として登録されており、IOMC 参加組織から各 EPI 対策の進捗状況や、2020 年目標の達成に向けた勧告などが報告されました。
- [2] 今後の追加が提案される EPI:環境残留性のある医薬汚染物質(EPPP:Environmentally Persistent Pharmaceutical Pollutants)が新規の EPI として第 4 回 ICCM に提案されることになりました。

[3] その他の懸念事項: 毒性の高い農薬 (HHP: Highly Hazardous Pesticides) に関する今後の取組、協力体制等が議論されました。また、ペルフルオロ化合物 (PFC: Perfluorinated Chemicals) の管理と代替についての進捗が報告されました。

(4) 第 4 回 ICCM の開催準備

暫定的に 2015 年 9 月 28 日～10 月 2 日にスイス・ジュネーブでの開催が予定されていますが、他の関連する会議の日程を踏まえて後日決定されます。